

## 令和4年度東部地区小・中学校等5年経験者研修（選択コース）実施報告

### 1 実施について

	期日・会場	校種・コース
第1日	7月25日（月） 久喜市立東鷲宮小学校	小学校及び義務教育学校前期課程 （音楽・図工・体育・家庭・総合的な学習の時間 ・特別支援教育）
第2日	8月2日（火） 春日部市立武里南小学校	小学校及び義務教育学校前期課程 （国語・社会・算数・理科・生活・外国語）
第3日	8月4日（木） 加須市立加須東中学校	小学校、中学校及び義務教育学校 （特別活動・道徳）

※第1日～第3日において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、机上研修にて研修を実施した。受講者は、各教科の指導者が事前に作成した資料等を参照し、レポート作成を行った。

※受講者： 小学校136名 中学校77名 合計213名

### 2 研修受講者の感想から

#### （1）教科等ごとの主な感想

音 楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」は、「人と人」、そして「人と音楽」が対話できるような活動であることを学びました。そのような授業を目指して、実践を続けていきます。</li> <li>・今後「常時活動」を行う際は、子供たちが「音楽が楽しい」だけで終わることなく、それと共に音楽で育成する資質・能力を身につけられるように意識して取り組みます。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の作品の良さを伝えることを大切にしていきたいです。ただ「いいね」と伝えるのではなく、「どこところがよいか（色づかいや技法の取り入れ方等）」を意識した声掛けを行っていきます。</li> <li>・「鑑賞」の学習活動では、「自分たちの作品」から「身近な美術作品」に目を向け、児童が我が国や諸外国の美術展についても興味関心を持てるよう、意識が広がるようにしていきたいです。</li> </ul>
体 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が運動の特性を味わえるように、ルールの簡易化や行い方を工夫していくことが大切だと学びました。特に苦手な児童が少しでも抵抗感なく取り組みたり、活躍し、称賛されたりするような場面を設けていきたいです。</li> <li>・ICTを活用し、自分たちの動きを確認することで、課題解決のための児童相互交流も生まれることを学んだので、これから実践していきたいです。</li> </ul>
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を行う際は、安全・安心かどうかを複数の目で十分に確認した上で、事前の準備を進めていきます。感染症拡大防止にも配慮していきます。</li> <li>・実技は、児童の差が顕著に表れるため、手順の掲示物、ワークシート等を工夫し、児童の差を埋められるように実践していきたいです。</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「探究的な学習」が主体的で対話的な活動になるよう、今回の研修資料にあった様々な手立てやツールを使用していきたいと思います。</li> <li>・「探究サイクル」には、「課題設定」→「情報の収集」→「整理分析」→「まとめ・表現」の流れがあり、これを何度も繰り返すことで、探究的な学習が高まっていくことを学びました。</li> </ul>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の情報共有と対応策、正しい発達障害に対する知識を私たち教員が学び続け、多くの児童が安心して学ぶ体制を整えることが大切だと感じました。</li> <li>・特別な支援を要する児童が、気になる行動をすると注意や叱責を受ける対象となりやすい存在となってしまうことがあります。「困った子」から「困っている子」へと視点を変えることが児童の支援につながると感じました。</li> </ul>

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を書いた後は、児童が自ら読み返して正しい文章にできるように指導していきたいです。そのためには、音読をして声に出し文章を読むことや、相手を意識して伝えるための文章にすることなどを必ず行っていきたいです。</li> <li>初発の感想から生まれた疑問をもとに「問い」や「学習計画」を作成することで、児童もより「なぜだろう」「どうしてだろう」と深く考えることができ、主体的に授業に臨むことができるようになると学びました。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が個々の資料の価値を事前に見極めた上で授業を行い、児童が主体的に資料を収集、選択、吟味する力を身に付けさせることが大切だと学びました。</li> <li>読み取った情報と他の事象との関連付けを行い、「事実」と「解釈」を分けることが大切であり、児童が「つまり～」と解釈を言えるように授業を実践していきたいです。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>「友達の図(式)はどのような考え方をしたのだろう」、「友達と考えを比べるとどんなことが言えるだろう」などと問いかけ、児童同士で話し合いを広げていきたいです。</li> <li>問いを見い出せる児童、統合・発展の視点から物事を捉えられる児童の育成をしていくことが大切だと改めて感じました。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な器具、薬品、火等を扱うため、安全指導は欠かすことができません。安全指導では、①ワークシートを活用し、実験のどこに危険があるのか児童自らが考える②児童にとって覚えやすい合言葉を作る③安全メガネをつけさせる等が大切であると学び、しっかり実践しようと思いました。</li> <li>問題解決の考え方には、「比較する」「関係付ける」「条件を制御する」「多面的に考える」ということが大切だと知り、大変参考になりました。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼保小の繋がりをより意識させるために、スタートカリキュラムがあり、その役割がとても大切であることを改めて学びました。</li> <li>児童が日常生活の中で学習を生かしていけるよう授業を工夫することで、自立した豊かな生活や、目指す資質・能力の育成につながっていくことが分かりました。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元終末に求められる姿(言語活動を行う姿)に向けて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況の設定を意図的に行う大切さを学びました。</li> <li>コミュニケーションストラテジーを用いながら、何とか自分の力で伝えよう、分かろうとする態度を育て、会話形式でのやり取りが1回でも増えるようにしていきたいと思いました。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団の中で人間関係を形成し、お互いの考えや個性を認め合うこと、よりよい学級・学校づくりができるように主体的に関わること、集団の中で自分の意見を伝えることなど、児童自身が集団と関わりながら、自分を振り返ったり、自己表現したりすることが大切だということが分かりました。</li> <li>資料から学んだことを生かし、「生徒がお互いの良さを認め合いながら合意形成ができる学級づくり」を目指して学級活動を行っていきたいです。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態を踏まえ、発問に対する立ち位置(共感的、分析的、投影的、批判的)、異なる視点や立場からの考え、生徒の多面的・多角的な思考を促す授業づくりを行い、深い学びへとつなげていきたいです。</li> <li>「なぜ」、「どうして」などと深く掘り下げる発問を行う大切さを学びました。また発問する際に個人だけに問うのではなく、他の児童に対しても同じように考えさせることで、多面的で多様な考え方を引き出していきたいです。</li> </ul>